

APP 環境新聞

発行日 2024年9月30日

発行者 エイピーピー・ジャパン株式会社 (APP ジャパン)
ユニバーサル・ペーパー株式会社 (UP)



APPは持続可能な開発目標
(SDGs)を支援しています。



高校間連携によるインドネシア・フィールドワークを開催！

2024年7月28日～8月8日、筑波大学附属坂戸高等学校(以下、筑坂高校)と愛媛大学附属高等学校との高校間連携によるインドネシア・フィールドワークが開催され、計16名の教諭と生徒の皆さんが参加しました。

前半6日間はAPP関連の施設訪問が中心となり、ジャカルタに到着した翌日にはAPP本社を訪問して、森林保護などの様々な活動について講義を受けました。さらに森林火災モニタールームを見学した後、スマトラ島リアウ州のプカンバルに移動しました。

3日目は朝からインダキアット・ペラワン工場で原木から紙製品が出荷されるまでの一連のプロセスを見学し、午後は「森の再生プロジェクト～いっしょにSDGsに取り組もう！～」(以下、森P)の現場を訪れ、記念植樹を行った後に生徒の皆さんによる寄付金に対する感謝状の授与が行われました。最後に同一区画内で保護されているスマトラ象とも触れ合いました。



工場見学で生産されたパルプを触る



スマトラ象と触れ合う



工場廃棄物を使った編み物体験

次の日は小雨が降る中、5年周期で収穫されるAPPの植林地を視察し、保護林区域を訪問した後、育苗研究所に移動して産業植林の苗をクローン生成する様子を見学しました。

5日目は社会的な活動を視察する1日となり、APPが運営する農業支援センターの見学、焼き畑に依存しない農業支援(DMPA)プログラムに参加している農家の訪問、そして工場の廃棄物を活用した地域の女性支援(製品梱包用ストラップバンドの端材を使った籠などの編み物事業)の現場を訪れて、現地の人々と交流を重ねました。

前半最終日はジャカルタに戻り、総括として参加者全員で振り返りを行いました。生徒の皆さんは帰国後に参加報告の動画を作成しており、今後、様々なイベントで発表予定です。

<振り返りでのコメント>

- 参加前の環境授業ではどうしても自分事にならなかったが、日本で使う紙が作られている現場に来てみて、環境教育の重要性を再認識した。環境教育のあり方について自分だからこそできることを考えたい。
- 絶滅危惧種の苗を植えることができ、自分の行いによって絶滅を回避できるかもしれないと安堵感を感じた。一方で、大規模な植林事業を見て、日本の林業に対する危機感も強く感じた。(次ページに関連記事)

第13回SAF開催 & サステナビリティ報告書 2023公開



APPサステナビリティ報告書2023

7月25日、第13回APPステークホルダー・アドバイザリー・フォーラム(SAF)がオンラインとリアルで開催され、ジャカルタの会場には200名を超える参加者が集まりました。

APPサステナビリティ担当役員エリム・スリタバの挨拶に始まり、インドネシア・グローバル・コンパクト・ネットワークのヤヤ・W・ジュナルディ会長の講演やパネルディスカッションも行われ、終盤では熱帯森林同盟のリザル・アルガマー氏がインドネシアの森林保全におけるAPPの役割の重要性を強調しました。

その開催に合わせ、「APPサステナビリティ報告書2023」が公開されました。日本発の取り組みである森Pも紹介されています。

<https://link.app.co.id/app-sr-2023/>



こんなところに「森の再生プロジェクト」ロゴ



Life-do.Plus 株式会社様
「粘着スペアテープ」



有限会社鈴正様
「ぶるんっ!! ビーナッツプリン」

エイピーピー・ジャパン株式会社(以下、APPジャパン)やユニバーサル・ペーパー株式会社(以下、UP)の紙製品を採用/使用いただくことで、どなたでも森Pに貢献できます。

特にご賛同いただいたお客様には、各社製品、印刷物、パッケージに森Pロゴを表示していただいています! また、小林紙商事株式会社様には会社HPで、SDGsに貢献する取り組みの1つとして、森Pの紹介をいただいています。 <https://kobayashi-paper.co.jp/>



Hello ブランドリニューアル!!

2024年秋よりUPのHelloブランドがリニューアルされ、ティッシュ・キッチンタオル・トイレトロールなど全製品がブランドアンバサダー「ハロたん」のパッケージに順次切り替わります。もちろん、全製品が森P対象でロゴも表示されています。



Hello ブランドアンバサダー
「ハロたん」

ティッシュの妖精「ハロたん」シリーズの各種Hello製品をお店で見つけてみてください!



りそな銀行様による記念植樹



三菱HCキャピタルアンドファイナンス
インドネシア様による記念植樹



帆風様による記念植樹

日本企業・日系企業の現地訪問、次々と続く

インドネシアのAPP工場、植林地、森Pサイト視察プログラムは、コロナ禍が収まった2023年以降、日本企業および日系企業の皆様にも続々とご参加いただいています。

今年に入って訪問していただいたのは、株式会社りそな銀行（以下、りそな銀行）様、りそなプルダニア銀行様、三菱HCキャピタルアンドファイナンス インドネシア様、そして株式会社帆風（以下、帆風）様です。

りそな銀行様はAPPグループへの融資をきっかけにお越しいただき、りそなプルダニア銀行様、三菱HCキャピタルアンドファイナンス インドネシア様も一緒にご参加いただきました。帆風様は、今年3月に実施したAPPのサステナビリティ活動に関する勉強会をきっかけに、本格的な森Pへの参画と共に、今夏、現地を訪問してくださいました。

今後も多くのステークホルダーの皆様にもインドネシア現地を視察いただき、皆様のご支持とご支援を基に森Pを確実に推進して参ります。

各種メディアが記事掲載

このフィールドワークにはメディアの記者3名も同行されました。じゃかるた新聞では、7月30日、8月1日、5日の3回に渡り記事を掲載していただきました。

紙パルプ業界誌『Future』では、9月9日号と9月23日号に詳細レポートが掲載されています。



じゃかるた新聞記事 『Future』掲載レポート

ESD ～持続可能な開発のための教育～ コラボレーション研究報告を実施

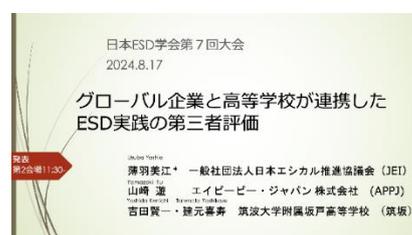
8月17日、東京・星稜会館において、日本ESD(Education for Sustainable Development)学会第7回大会が開催され、「グローバル企業と高等学校が連携したESD実践の第三者評価」と題した研究発表が行われました。

本研究は、筑坂高校の建元喜寿教諭、吉田賢一教諭と共に、当社山崎が協働開催した、2023年夏のインドネシアにおけるフィールドワークについて、一般社団法人日本エシカル推進協議会 (JEI) 薄羽美江理事による代表発表が行われたものです。

同学会が発行する学会誌に掲載予定の実践報告の内容に準じ、参加生徒の皆さんにとって卒業後の進学選択にインドネシア現地体験による影響があったことや、ツアー前後でエシカルアクションへの積極的な行動力や連携力に変容が認められた実証報告がありました。

同フィールドワークは今年も開催され、筑坂高校並びに愛媛大学附属高等学校の参加生徒の皆さんは帰国後、協働でツアー成果を映像化し、10月18日に開催される「知のオリンピック」にエントリーします。さらに、11月9日に開催される第13回高校生国際ESDシンポジウムにおいては、インドネシアから来日するボゴール農科大学附属コルニタ高校生徒の皆さんやAPP本社のサステナビリティ担当者に向けて、本フィールドワーク参加報告のプレゼンテーションが実施される予定です。

企業と学校教育の連携による日本とインドネシアの交流を発信する、未来の担い手のますますの活躍が期待されます。



ESD学会における発表の様子

「APPはこう考える」～再生紙とバージンパルプ紙⑤～

バージンパルプの特徴（白さと不純物の無さ）を活かしたコピー用紙やペーパータオルなどを日本で多く販売している私達は、バージンパルプ中心の製紙メーカーとされているようです。

実は、APPグループも古紙パルプをなるべく多く使うことを目指しており、APPインドネシアでは2023年における原料全体の48%が古紙パルプでした。但し、段ボールやコートボールなど日本向けに生産していない製品に多く使われているために、日本ではそのイメージが薄いようです。

全体量から見ると決して多くはないですが、コピー用紙に関しては、日本におけるグリーン購入法のように公共調達条件として再生紙が求められる場合は再生紙品を生産しています。

エコプロ2024 12年目の出展決定

APPジャパン/UPは12月4日～6日に東京ビッグサイトで開催される「エコプロ2024」に12年連続で出展いたします。スタッフ一同で企画を鋭意検討中ですので、ぜひお越しください!!

高校1、2年生によるオフィス訪問

9月12日、自由が丘学園高等学校（東京都目黒区）の1、2年生16名の生徒さん達と引率の先生をAPPジャパン/UPの東京オフィスにお迎えしました。

SDGsに貢献する活動などについて話をさせていただき、先生から「社会人の方々と交流できる貴重な機会でした。」とお言葉をいただきました。



高校生によるオフィス訪問の様子

JAPAN DIY HOMECENTER SHOWに出展

8月29日～31日、「JAPAN DIY HOMECENTER SHOW」が幕張メッセで開催され、APPジャパン/UPはインドネシア・パピリオンの一角に出展しました。

来場者にHelloブランドの新パッケージを中心に森P対象製品をご紹介しました。



APPジャパン/UPコーナーの様子



森の再生プロジェクト～いっしょにSDGsに取り組もう！～ 参加方法

1. プロジェクトの対象製品を購入する
2. 個人・法人等で寄付をお考えの方
(sustainability@appj.co.jp までお問い合わせください)

APP 環境新聞バックナンバー

こちらよりご覧いただけます
<http://www.app-j.com/topics/1673.html>